

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーもパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



様々なサステイナブルな旅づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページでご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

(1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
- ④ 食事の料金(機内食は除く。)*及び税・サービス料金
- ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの

(2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用できなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

上記以外には旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
- (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
- (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
- (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

(1) 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

(2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

■観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
■お食事：朝＝朝食 昼＝昼食 夕＝夕食 機＝機内食 □＝食事なし㊦＝軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
■乗り物：➡＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけたよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本出発時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外へ出発地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までには解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金 が25万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までには解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金 が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までには解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2024年10月1日現在の運賃・料金を基準としております。

① コソボ、アルバニア、北マケドニアの旅

② セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロの旅

③ メスティアも訪ねる コーカサス3カ国大周遊の旅

④ 十字架峠とコーカサス3カ国の旅

⑤ アゼルバイジャン探訪とカスピ海の旅

心に残る高品質な旅
WORLD
バルカン・コーカサス
東京発 2025.4月▶6月出発

歴史に翻弄された様々な民族が

今も独自の文化、伝統、宗教を色濃く伝えながら暮らす

モザイクのようなバルカン半島の国々へ

ツミンダサメバ教会の奥に広がるコーカサスの山々の景色(イメージ)(ジョージア)

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

□ 東京支店 TEL: 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL: 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣

□ 名古屋支店 TEL: 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICO栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ 九州支店 TEL: 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ 札幌支店 TEL: 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 藤沢支店 TEL: 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

WEBも
どうぞ

ワールド航空
https://www.wastours.jp

検索

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)
ボンド保証会員 旅行業公正取引
協 会 会 員

知られざるバルカンの国々を巡る
コソボ、アルバニア、
北マケドニアの旅 9日間



アルバニア 「千の窓の町」と呼ばれるベラット

苦難の歴史を乗り越え、今に至る
知られざるバルカン半島の3カ国を訪ねて

ここに注目。旅のポイント

コソボ 西欧とイスラムの文化が交わる
コソボの古都プリズレンの魅力

古都プリズレンはコソボで最もコソボらしい町と言われます。石橋のたもとからは、6世紀のビザンチン帝国時代に端を発する要塞を背景に、そびえたつオスマン帝国時代に築かれたモスクとセルビア正教会が同時

に目に入り、歩けばオーストリアに支配された時代に敷かれた石畳をみることができます。バルカン半島の複雑さを凝縮したようなこのプリズレンに連泊し、のんびりと旧市街を散策する時間もおとりました。



趣ある古都プリズレンの町並み



コソボでは内部のフレスコ画が見事な世界遺産のグラチャニツァ修道院も訪ねます

■コソボ共和国 【首都】 プリシュティナ 【主要言語】 アルバニア語、セルビア語 【主要宗教】 イスラム教、セルビア正教 【独立宣言】 2008年2月17日 セルビアより



オフリッド 聖ソフィア大聖堂

ツアープランナーより

旧ユーゴスラビアから独立したコソボ、北マケドニア、そしてアルバニアを巡るツアーです。この地域は、かつて「東西文明の十字路」として多様な文化や宗教が共存してきました。長くオスマン帝国の支配下にあったアルバニアは人口の約7割がイスラム教徒ですが、30年にわたる宗教活動禁止の影響で無宗教的傾向が強い独自の国です。隣国コソボもアルバニア系が多く、セルビアから独立したものの、セルビアにとって歴史的・精神的な「心の故郷」とも言える地であり、今でもセルビア及び民族問題を抱える様々な国から独立が認められていません。スラヴ系が主な北マケドニアは、キリスト教がスラヴ語で初めて伝わった地であり、バルカン半島のキリスト教の中心地でもあります。文化・宗教・歴史背景が異なるこれら3カ国を訪れることで、バルカン諸国の複雑な歴史と文化、そして政治体制が社会に与える影響など生きている現代史にも触れていただきます。

アルバニア アルバニアの世界遺産
「千の窓の町」ベラットは宿泊してじっくりと町歩き

1990年頃まで鎖国状態にあった、まさに知られざる国アルバニア。オスマン帝国時代の居住区が世界遺産に登録されるベラットでは、宿泊して独特の町並みをじっくりご覧いただけます。山肌に張り付くように並ぶ家々は壮観で「千の窓の町」と

呼ばれるのも納得です。他にも古都クルヤでオスマン帝国に立ち向かった英雄スカンデルベグゆかりのクルヤ城や伝統的な刺繍やレース、織物などのお店が建ち並ぶオールドバザールなども訪ねます。



クルヤのオールドバザール



英雄スカンデルベグがオスマン帝国を退けた歴史的な場所、クルヤ城

■アルバニア共和国 【首都】 ティラナ 【主要言語】 アルバニア語 【主要宗教】 イスラム教 【独立宣言】 1912年11月28日 オスマン帝国より



北マケドニア 北マケドニア・オフリッド湖畔に佇む
世界遺産の教会群を訪ねる

約500万年前に誕生したヨーロッパ最古の湖とされるオフリッド湖。透明度の高い美しい湖は世界自然遺産に、そして湖畔に佇む教会群は世界文化遺産に登録されています。3世紀末にこの地にキリスト教が伝わり、のちにスラヴ人の宗教文化都市として発展しました。最盛期には300以上の教会があり、「第2のエルサレム」とも呼ばれたほどでした。オフリッドでは連泊し、聖ソフィア大聖

堂など歴史的建造物の数々をご覧ください。



オフリッド湖畔に佇む聖ヨハネ・カネオ修道院は船から臨みます



オフリッドの町並み(イメージ)

■北マケドニア共和国 【首都】 スコピエ 【主要言語】 マケドニア語、アルバニア語、トルコ語など 【主要宗教】 マケドニア正教 【独立宣言】 1991年9月8日 ユーゴスラビアより

北マケドニアでは
ストビ遺跡などを訪ねます

北マケドニアではオフリッド湖周辺だけではなく、国内最大のローマ遺跡で、古代マケドニア地方の中心として栄えたストビ遺跡などを訪問します。



ストビ遺跡には保存状態の良いモザイクが残っています

伝統料理を個性的なレストランでご用意

ベラットでは伝統建築「クラ」を利用したレストランでの夕食。オフリッドでは名物のブラウン・トラウトの料理を、そしてスコピエでは15世紀のキャラバンサライ内のレストランでの夕食をご用意しました。



ブラウン・トラウト (添乗員撮影・イメージ)

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：EE108T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・9日間】 8月8日(金)		エコノミークラス利用 ¥555,000	ビジネスクラス利用 ¥1,075,000
【羽田空港集合・9日間】 9月23日(火)、10月21日(火)		エコノミークラス利用 ¥465,000	ビジネスクラス利用 ¥985,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥50,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～イスタンブール～プリズレン/スコピエ～イスタンブール～羽田空港間にご適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500 / 10月1日現在			
地方発着追加代金		大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので各支店へお問い合わせください。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05：10着 イスタンブール07：45発 プリシュティナ08：20着	航空機を乗り換え、コソボの首都プリシュティナへ。着後、郊外に建つ後期ビザンチン様式の傑作、 ■グラチャニツァ修道院 へご案内。その後、 プリシュティナの市内観光 。15世紀以来の歴史を持つ ○ファティモスク や ○国立図書館 を散策します。(注1) その後、プリズレンへ。	【2連泊】(プリズレン泊) 機 昼
3	プリズレン	午前、 古都プリズレン の観光。 ■リウヴァシャ教会 、 ○シナン・バシヤモスク など古都の散策をお楽しみください。(注1) 午後、自由行動。	(プリズレン泊) 朝 昼
4	プリズレン08：00発 クルヤ ベラット17：00着	午前、バスにて国境を越えアルバニアの古都 クルヤ へ。着後、 ○オールドバザール 、 ●クルヤ城 へご案内します。その後、オスマン帝国時代の家並みが岩山の斜面に位置する「 千の窓の町 」 ベラット へ。 夕刻、 伝統建築群のそぞろ歩き をお楽しみください。夕食は、 伝統建築「クラ」を利用した「HANI XHEBLATIT」 にてお召し上がりください。(注4)	(ベラット泊) 朝 昼
5	ベラット13：00発 オフリッド19：00着	午前、 ●ベラット城 を観光し、オヌフリ・イコン博物館や展望テラスにもご案内します。(注2) その後、国境を越え、北マケドニアに入国。夕刻、 ●聖ナウム修道院 や ツルニ・ドゥルミの泉クルーズ 、 ●水上博物館 を見学。その後、オフリッドへ。	【2連泊】(オフリッド泊) 朝 昼
6	オフリッド	午前、 ■オフリッド の観光。 ○聖ソフィア大聖堂 、 ●サミュエル要塞 、 ○聖クリメント教会 にご案内します。(注2) また、オフリッド湖の遊覧では、 ○聖ヨハネ・カネオ修道院 を船から臨みます。 午後、自由行動。 夕食には、 オフリッド湖名物のブラウン・トラウト をご用意しました。	(オフリッド泊) 朝 昼
7	オフリッド09：00発 ストビ遺跡 ヘラクレア遺跡 スコピエ17：00着	午前、バスにて古代マケドニア地方の中心として栄えた ●ストビ遺跡 、及び初期キリスト教のモザイクが残るビトラの ●ヘラクレア遺跡 を訪ねます。(注3) その後、スコピエへ。 夕食は、 旧市街オールドバザール内の1472年建造のキャラバンサライ内にある「PIVNICA AN」 にてお召し上がりください。(注4)	(スコピエ泊) 朝 昼
8	スコピエ20：20発 イスタンブール23：00着	午前、ケーブルカーにてボドノ山の ミレニアム・クロス へ。スコピエ市街を一望します。 その後、 スコピエ の観光。 ○マザー・テレサ記念館 、 ●考古学博物館 や スコピエ広場 周辺をご案内します。 夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝 昼 機
9	イスタンブール02：00発 羽田空港19：20着	着後、航空機にて帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着後、解散。	機 機 □

(注1) ツアー全体を通して、旧市街、城塞などは徒歩での観光が中心となります。プリズレン、プリシュティナ、スコピエの町は平坦な道ですが、各地目安として、約1～2時間前後の徒歩観光となります。
(注2) オフリッド、ベラット、クルヤの旧市街、城塞は、上り坂や階段もあり、それなりに歩く箇所がございます。ベラットにつきましては、斜面に町が築かれているため、原則移動は坂道か階段となります。ベラットとクルヤにつきましては、石畳の道となり、摩擦も進んでいるため、滑りづらい靴底がしっかりしている靴をご準備ください。
(注3) ビトラのヘラクレア遺跡では、貴重なモザイクを保護する目的で、モザイクの上に砂が掛けられることがしばしばございます。訪問時がどのような状況かは事前に発表されないため、場合によってはモザイクはほとんどご覧いただけない場合がございます。予めご了承ください。
(注4) レストラン側の理由によりやむを得ず変更となる場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人数：10名様 ■食事：朝食6回、昼食7回、夕食6回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要 ■コソボ入国の際は海外旅行保険への加入が義務づけられております。下記要件を満たす保険証券を携帯する必要があります。①滞在期間をカバーし、死亡時の補償が含まれていること。②クレジットカード付帯でも可。③日本で発行された保険証券であること。

ご宿泊ホテル

- プリズレン：クラシック・ホテル
- ベラット：ホテル・コロンボ
- オフリッド：ベルビュー(8/8発)、ユニーク・リゾート&スパ(9/23発、10/21発)
- スコピエ：アレクサンダー・パレス

※いずれのホテルもシャワーのみのお部屋となります。

知られざる絶景と美しき街々を訪ねて

セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロの旅 11日間



ユーゴスラビア構成国の中心を成したセルビアの首都ベオグラード（イメージ）

東西の文化が交錯する旧ユーゴスラビア3カ国

個性豊かな国々を訪ねて

ツアープランナーより

ボスニア・ヘルツェゴビナは特異な歴史を持つ国です。地理的な特性から、元々キリスト教のカソリックと東方正教会の対立の最前線であったところに、近世に入りオスマン帝国の支配下に置かれた事でイスラム教徒も増え、民族と宗教が複雑に入り組んだ地域となりました。他の旧ユーゴスラビア諸国が特定民族の国として独立した中、ボスニア・ヘルツェゴビナだけが地域的な共和国となったのもその為です。訪れる街によって、トルコ風、正教風、或いは混ざっていたり、変化に富んだ街並みが広がります。一方、セルビアとモンテネグロはキリスト教の正教徒が大半を占めていた国。革命運動でオスマン帝国から、いち早く独立を果たしたセルビアは、その後ユーゴスラビア連邦の中心となりましたが、コソボの独立を巡って欧米諸国と対立し、ロシアと友好関係を結んでいます。モンテネグロはセルビアと長らく連邦国家であったものの、経済の停滞と欧米諸国との関係性等を巡って国家の方向性を違い、独立。現在はEU加盟を目指しています。民族的な独立国家ではないモザイクのようなボスニア・ヘルツェゴビナ、同じ民族と宗教でありながら、それぞれの道をゆくセルビアとモンテネグロ。3つの国を訪ねることでかつては「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれたバルカン半島の複雑な民族、宗教と今に続く歴史に触れていただけます。



シャルガン8でのんびりとした狭軌鉄道の旅（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

セルビアの2つの異なる文化と街並み

ベオグラードとノヴィ・サドを訪問

旧ユーゴスラビアの首都、ベオグラード。ドナウ河畔で最重要な戦略的拠点として、古代から現代までの間に領有権を巡って記録されているだけで150回近くにわたって戦いの場となっております。16世紀から19世紀にかけてはオスマン帝国領として統治されたため、どこかエキゾチックな街並みが魅力。一方のノヴィ・サドは17世紀以降はハプスブルク家の領地として発展しており、小ウィーンとも言うべき街並みが広がります。



オーストリアの雰囲気が漂うセルビア第二の都市ノヴィ・サド

保存鉄道シャルガン8乗車とセルビア王家ゆかりの街へ

セルビア西部の国境近くを走る760mmの狭軌鉄道「シャルガン8」。かつてベオグラードとサラエボを結んでいた鉄道の一部区間なのですが、82型蒸気機関車が息を呑むような断崖を通り、20ものトンネルを抜けて2時間半ほど走る人気の観光列車

です。車窓からの山並みや滝、田園風景をお楽しみください。また、セルビアの旧王家、カラジョルジェヴィッチ家ゆかりの街オブレナツにも立ち寄り、霊廟や別荘などを訪ねます。



旧セルビア王家の霊廟、オブレナツの聖ジョージ教会の壮麗な内部



平和の象徴、ボスニア・ヘルツェゴビナの

世界遺産モスタールと首都サラエボを訪ねる

東西文明の十字路としてオスマン帝国、オーストリア・ハンガリー帝国など、各時代の支配者の影響を受けてきたボスニア・ヘルツェゴビナ。首都サラエボでは多様な文化が入り混じった独特の雰囲気になります。また、ヨーロッパでありながら、イスラム文化のオリエンタルな風情が漂う古都モスタールも訪問。古い橋スターリ・モストは、内紛で破壊されたのち2005年に再建されました。

その歴史的背景と平和の象徴として世界遺産に登録されています。



世界遺産に登録されているスターリ・モストとモスタール旧市街

隠れた宝石とも呼べるような珠玉の村を訪問

ボスニア・ヘルツェゴビナでは絶壁と清流が織り成す景観が素晴らしいブラガイ村やトレビニェシュニツァ川の鏡のような水面に旧市街が映り込むトレビニェ村の訪問など、都市部だけではなく魅力に迫ります



トレビニェ村（イメージ）

世界遺産コトル・フィヨルド深奥の港町とブドヴァ

モンテネグロでは約400年ベネチア共和国によって支配され、ローマ様式で街並みが統一されている古都ブドヴァに連泊。フィヨルドの最奥に位置するモンテネグロの世界遺産コトルも訪問します。



世界遺産のコトル（イメージ）



世界最大級の大峡谷、世界遺産ドゥルミトル国立公園のタラ渓谷（イメージ）

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、LOT ポーランド航空、カタール航空、日本航空、全日空
ツアーコード：EQ015T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田または成田空港集合・11日間】 5月14日(水), 9月16日(火)	エコノミークラス利用 ¥598,000	ビジネスクラス利用 ¥1,118,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥70,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500/10月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し、お断りください。各支店へお問い合わせください。
----------	--	----------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発➔	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05：10着 イスタンブール007：45発➔ ベオグラード08：30着 ☑(ノヴィ・サド)	航空機を乗り換え、セルビアの首都ベオグラードへ。着後、セルビア第2の都市ノヴィ・サドへ。旧市街の散策及び昼食にご案内します。(注1) 午後、スレムスキ・カルロブツィのワイナリーへ立ち寄り、ベオグラードへ。(注1)	(ベオグラード泊) 朝昼夕
3	ベオグラード09：00発☑ オブレナツ☑ チャチャク17：30着	午前、ベオグラードの市内観光。○カレメグダン公園、●セルビア正教大聖堂などへご案内します。その後、チャチャクへ向かいます。途中、セルビアの王家、カラジョルジェヴィッチ家の霊廟である●聖ジョージ教会や○別荘があるオブレナツに立ち寄ります。	(チャチャク泊) 朝昼夕
4	チャチャク07：30発☑ モクラ・ゴラ (シャルガン8乗車)☑ ヴィシェグラード☑ サラエボ19：30着	朝、モクラ・ゴラへ。モクラ・ゴラから狭軌鉄道シャルガン8の乗車をお楽しみいただきます。その後、ボスニア・ヘルツェゴビナへ入国しヴィシェグラードへ。天才建築家ミハイル・シナンの建築した○メフメット・パシャ橋を見学。その後、サラエボへ向かいます。	【2連泊】(サラエボ泊) 朝昼夕
5	サラエボ	終日、サラエボの市内観光。○職人街バルチャルシャやサラエボ事件の発祥の地○ラチン橋(旧プリンツィプ橋)、○冬季5輪施設と墓地などへご案内します。	(サラエボ泊) 朝昼夕
6	サラエボ09：00発☑ モスタール12：00着	午前、モスタールへ向かいます。午後、モスタール旧市街の散策。○古い橋(スターリ・モスト)などネレトヴァ川沿いの散策へご案内します。	(モスタール泊) 朝昼夕
7	モスタール08：00発☑ ブラガイ☑ トレビニェ☑ シャブリャク18：00着	午前、ブラガイ村、及び美しいトレビニェの町へご案内。午後、国境を越えモンテネグロに入国し、ドゥルミトル国立公園の観光拠点であるシャブリャクへ。	(ドゥルミトル国立公園近郊シャブリャク泊) 朝昼夕
8	シャブリャク08：00発☑ タラ渓谷☑ オストロク☑ ブドヴァ 17：30着	午前、タラ渓谷へ。深さ最大1900m、全長約82km、世界で2番、ヨーロッパでは最も深く、長い渓谷の自然美をお楽しみください。その後、バルカン半島有数の巡礼地である●オストロク修道院へご案内します。午後、ブドヴァへ向かいます。	【2連泊】(ブドヴァ泊) 朝昼夕
9	ブドヴァ (コトル)	午前、コトルへ。着後、旧市街の散策へご案内します。午後、スペティ・ステファン島の写真ストップにご案内します。	(ブドヴァ泊) 朝昼夕
10	ブドヴァ 13：00発☑ ボドゴリツァ 20：40発➔ イスタンブール 23：30着➔	午前、自由行動。ご希望の方は、散策へご案内します。(注1) 午後、スペティ・ステファン島の写真ストップを取りながら、首都ボドゴリツァへ。ボドゴリツァの簡単な車窓見学後、空港へ向かいます。夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝昼機
11	イスタンブール02：00発➔ 羽田空港19：20着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。夜、羽田空港に到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの便を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。また、復路はドブロヴニク空港の利用となる場合があります。※欧州先進諸国間とは異なり、旧ユーゴスラビア諸国間は昔ながらの国境管理が行われています。通境時には余裕を見て行程を組んでおりますが、想定よりも時間がかかる可能性があります。(注1)利用航空会社により発着時間が異なるため、2日目と3日目の観光順序を入れ替えてご案内する場合があります。また、10日目のブドヴァでの自由時間はお取りできない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食9回、夕食8回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■パスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- ベオグラード：ハイアット・リージェンシー・ベオグラード
ベオグラードを代表する上級ホテルのひとつ。
- チャチャク：ガルニ・ホテル・アヴェニール
地方都市ゆえに設備は簡素となります。
- サラエボ：スインテル・サラエボ ※シャワーのみの客室となります。
- モスタール：エデン・ホテル&スパまたはHAホテル ※シャワーのみの客室となります。
- ドゥルミトル国立公園近郊シャブリャク：
ホテル・ソニアまたはHMDゥルミトルまたはSKIホテル
※シャワーのみの客室となります。
- ブドヴァ：ホテル・ブドヴァ ※シャワーのみの客室となります。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

アゼルバイジャン、ジョージア、アルメニア 悠久のコーカサス3カ国へ

メスティアも訪ねる

コーカサス3カ国大周遊の旅 15日間



「ヨーロッパ最後の秘境」とも呼ばれるウシグリ村（イメージ）

秘境メスティアよりさらに奥深くの「欧州最後の秘境」ウシグリ村に広がる原風景を訪ねて

ここに注目。旅のポイント

独特な石の塔が残るスワネティ地方の秘境メスティアも訪問

世界遺産に登録されているメスティア周辺には少数民族スヴァン人が昔とあまり変わらぬ生活をしているのが山麓にいくつもの「塔状の家」が並ぶ、世界でも類を見ない景観です。この塔は外敵から身を

守るための籠城用の塔でした。メスティアからさらに最奥にある「欧州最後の秘境」と呼ばれるウシグリ村へも足を延ばします。晴れていれば、ジョージア国内最高峰のシュハラ山を望めます。



いくつもの塔が立ち並ぶメスティア（イメージ）



ツミンダサメバ教会の奥にはコーカサスの山々の景色が広がります（イメージ）

ツアープランナーより

ヨーロッパとアジアを隔てるコーカサス山麓。この地域は古来シルクロードの要衝として栄え、古代ギリシャ、ローマ、ペルシャ、ビザンチン、オスマン、ロシアなどの列強が相争い、各時代の覇者たちが持ち込んだ高度な文明と地元の少数民族固有の文化が複雑に絡み合い、独自の文化が形成されてきました。これらの国々が歩んできた深い歴史や文化を、ジョージア最奥の秘境スワネティ地方にまで足を延ばし、15日間かけて訪ねます。キリスト教を最初に受け入れた国のひとつで、最古のワインを醸造したジョージア、世界で初めてキリスト教を国教として認めたアルメニア、ゾロアスター教の発祥の地ともいわれ、シルクロードの要衝の地であったアゼルバイジャンと、数千年に及ぶ歴史に育まれた悠久のコーカサスへぜひお出かけください。

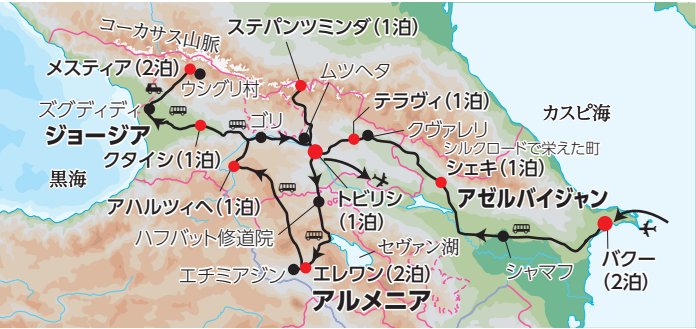
世界最初のキリスト教国 アルメニア使徒教会の総本山を訪ね、聖書に登場するアララト山を遠望

ローマ帝国に先がけて世界初のキリスト教国家となったアルメニア。エレワン近郊にはアルメニア使徒教会の総本山エチミアジンがあり、敬虔な人々はここでその典礼を守り続けています。また、コーカサス三国の中

で、コーカサス山脈の美しさと双壁を成すのが、ノアの方舟伝説で知られるアララト山でしょう。晴れた日はエレワンからもその雄姿は望めますが、アララト山をより近くに望めるホルヴィラップ修道院にご案内します。



ホルヴィラップ修道院と奥に聳え立つアララト山（イメージ）



ジョージア軍用道路を走り

ステパンツミンダでカズベキ峰を満喫

18世紀頃、帝政ロシアによって建設されたジョージア軍用道路。今ではコーカサス山脈の観光に欠かせない景勝ルートです。5,000メートル級の山々を望み、その美しさは文豪プーシキンらを魅了しました。ステパンツミンダへ向かう途中には十字架峠があり、ここで初めてシルクロードがキリスト教と出会いました。四輪駆動車に分乗し、カズベキ山を背

景にツミンダサメバ教会が建つ、まさにコーカサスを代表する風景にも足を延ばします。



ステパツミンダの町とその奥に聳えるコーカサス山脈（イメージ）

伝統料理や伝統音楽も楽しみのひとつ

ジョージアの世界無形文化遺産に登録された「ポリフォニー」をお聴きいただく機会を設けました。紀元前1世紀頃から伝承されてきた、独自の多声音楽が力強く響き渡ります。



世界無形文化遺産ポリフォニー（イメージ）

ご宿泊ホテル

テラヴィは名産ワインの産地にあり、周囲を葡萄畑に囲まれたホテルです。

■ テラヴィ：ホテル・クヴェヴレビ

ジョージアワインの産地カヘティ地方にあるユニークなホテルでの宿泊をお楽しみいただけます。ワイン造りが盛んなこの地域では、ワインの醸造に伝統的なクヴェヴリと呼ばれるテラコッタ製の壺が用いられてきました。ホテルの敷地には、その形を模したロッジ型の客室が点在しています。周囲にはぶどう畑が広がり、この地方らしい雰囲気味わえるのが魅力です。
※シャワーのみの客室となります。

(左)ジョージアワインの産地にあるユニークなホテルです（イメージ）

(右)クヴェヴリ型のロッジ内は快適な客室になっています（イメージ）

■ パクー：ハイアット・リージェンシー

パクーを代表するホテルのひとつ。

■ シェキ：シェキ・パレス・ホテルまたはマカラ・シェキ・シティ・ホテル

■ エレワン：アルメニア・マリオット・ホテル・エレワン

■ アハルツィヘ：アハルツィヘ・イン

■ メスティア：ジストラ

■ クタイシ：グランド・オペラ・ホテル（6/16、10/6、10/13発）

■ ニューポートホテル（6/25発）

■ トビリシ：ビルトモア・ホテル

■ ステパンツミンダ：ルームズ・ホテル・カズベキ

カズベキ山を望むお部屋をご用意しました。天候に恵まれば客室やテラスから周辺に秀峰カズベキをご覧いただけます。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：UC002T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田空港集合・15日間】 6月16日(月)、25日(水) 10月6日(月)、13日(月)		エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 ¥1,278,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥120,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～イスタンブール～パクー/トビリシ～イスタンブール～羽田空港間に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：10月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	（機中泊） ☐ 機
2	イスタンブール05：10着 イスタンブール06：55発 パクー 10：45着 （ゴブスタン）	航空機を乗り換え、アゼルバイジャンの首都 パクー へ。 着後、石器時代の岩絵彫刻が残る ゴブスタン を観光し、ホテルへ。	【2連泊】（パクー泊） ☐ 機 ☐ 夕
3	パクー	午前、パクー郊外の燃える山 ヤナル・ダグ と 拝火教神殿 を見学します。 午後、 旧パクー市街 を観光。 シルヴァン・シャフ・ハーンの宮殿 、 乙女の望楼 などにご案内。	（パクー泊）朝 機 夕
4	パクー 09：00発 シャマフ シェキ 17：00着	午前、パクーよりかつてのシルクロードを走り シャマフ へ。着後、 金曜日のモスク 、 イエディ・ギェンバズ（7つのドーム） を見学します。その後、 シェキ へ。着後、 シェキ王宮 、 キャラバンサライ などを見学します。	（シェキ泊）朝 機 夕
5	シェキ08：30発 クヴァレリ テラヴィ 16：00着	午前、シェキより国境を越え ジョージア に入国し、ワインの里 クヴァレリ へ。着後、民家にて ジョージアワインの試飲 も含めた昼食。 午後、テラヴィのホテルへ。	（テラヴィ泊）朝 機 夕
6	テラヴィ 08：00発 ハフバット修道院 セヴァン湖 エレワン 19：00着	午前、国境を越え、アルメニアへ。 途中、 ハフバット修道院 を見学します。 午後、 セヴァン湖 に立ち寄り、首都エレワンへ。	【2連泊】（エレワン泊） ☐ 機 ☐ 夕
7	エレワン	終日、アララト山を望む ホルヴィラップ修道院 、 リブシメ教会 と スヴァルト・ノツ古代教会 を見学後、アルメニア使徒教会の総本山 エチミアジンの大聖堂（外観） と 宝物庫 を見学します。 昼食は民家でお召し上がりください。 午後、 ガルニ神殿 と ゲガルト修道院 を見学しエレワンへ戻ります。	（エレワン泊）朝 機 夕
8	エレワン09：00発 アハルツィヘ 17：00着	午前、エレワンより国境を越えジョージアに再入国。アハルツィヘに向かいます。途中、 ヘルトビシ城塞 にて写真ストップします。	（アハルツィヘ泊）朝 機 夕
9	アハルツィヘ 09：00発 ズグディディ メスティア 19：00着	午前、ズグディディへ。ズグディディより小型車に乗り換えコーカサス山脈の奥地メスティアへ。 途中、お天気が良ければ ウシュパル山 （標高4700m）などが見られるでしょう。（注1）	【2連泊】（メスティア泊） 朝 機 夕
10	メスティア （ウシグリ）	終日、小型車に分乗し、 スワネティ地方 とその周辺を観光します。ウシグリ村ではお天気が良ければジョージア最高峰の シハラ山 （標高5201m）が見られるでしょう。（注1）	（メスティア泊）朝 機 夕
11	メスティア09：00発 ズグディディ ヴァニ遺跡 クタイシ 19：00着	午前、小型車でズグディディへ戻ります。 午後、 ヴァニ遺跡 を見学後、クタイシへ。	（クタイシ泊） ☐ 機 ☐ 夕
12	クタイシ09：00発 ゴリ トビリシ 18：00着	午前、 バグラティ修道院 を観光します。その後、 ゴリ にて スターリンの生家 を見学。夕刻、トビリシに到着。 ジョージアのポリフォニー をお楽しみください。（注2）	（トビリシ泊）朝 機 夕
13	トビリシ09：00発 ムツヘタ 十字架峠 ステパンツミンダ 19：00着	午前、 古都ムツヘタ の観光。ジョージア最古の教会と言われる スヴェティ・ツホヴェリ教会 と ジュワリ大聖堂 を見学します。その後、 ステパンツミンダ へ。途中、ジンヴァリ貯水湖を見下ろす17世紀の アナヌリ聖堂 を見学し、 十字架峠 を越えます。	（ステパンツミンダ泊）朝 機 夕
14	ステパンツミンダ午前発 トビリシ 20：50発 イスタンブール 22：25着	午前、4WDにて、14世紀に建てられた ツミンダサメバ教会 へ。その後、ステパンツミンダへ戻り、バスに乗り換えトビリシへ。トビリシより、航空機にてイスタンブールへ。	（機中泊）朝 機 機
15	イスタンブール02：00発 夜、羽田空港に到着後、解散。	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着後、解散。	機 機 ☐

（注1）コーカサスの山々は天候によっては、ご覧いただけない場合がございます。
（注2）ポリフォニーはトビリシ以外の場所でご案内する場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食12回、昼食12回、夕食12回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上必要 ■アゼルバイジャン 査証料：無料（2024年10月現在） ※現地で取得いたします。 ■ジョージア政府により、旅行者は海外旅行保険加入、及び英文保険証書の持参が義務付けられています。弊社で海外旅行保険にご加入いただく場合は、英文保険証書発行のお手続きを併せて承りますが、ご自身でご加入の際には、ご加入の保険会社にお問い合わせの上、英文保険証書発行する手続きをお願いいたします。

5

6

十字架峠と コーカサス3カ国の旅 9日間



ホテルの敷地内から望むカズベキ山。世界でも屈指の絶景ホテルに宿泊します（添乗員撮影）

コーカサス山脈とアララト山の雄姿 文明の十字路となった歴史ある国々へ

ここに注目。旅のポイント

ジョージア軍用道路を走り ステパンツミンダで絶景のカズベキ峰を満喫

18世紀頃、帝政ロシアによって建設されたジョージア軍用道路。今ではコーカサス山脈の観光に欠かせない景勝ルートです。5,000メートル級の山々を望み、その美しさは文豪プーシキンらを魅了しました。ステパンツミンダへ向かう途中には十字

架峠があり、ここで初めてシルクロードがキリスト教と出会いました。四輪駆動車に分乗し、カズベキ山を背景にツミンダサメバ教会が建つ、まさにコーカサスを代表する風景へと足を延ばします。



ツミンダサメバ教会の奥にはコーカサスの山々の景色が広がります（イメージ）



ステパンツミンダの町とその奥に聳えるコーカサス山脈（イメージ）

ツアープランナーより

「コーカサス3カ国」と一括りにされることが多いアゼルバイジャン・ジョージア・アルメニアですが、実は民族、文化、宗教など全く異なる国々です。シルクロードの中継都市バクーの古い町並みや世界遺産に登録されている先史時代の岩絵、ジョージアとアルメニアに点在する古代キリスト教の足跡、ノアの方舟が流れ着いたアララト山を背景に建つ修道院など、様々な角度からそれぞれの国の違いをじっくりご覧いただきます。また、ジョージアではコーカサス山脈のカズベキ峰麓の町ステパンツミンダまでの絶景ルート、ジョージア軍用道路を走ります。途中、十字架峠を越え、周囲の5000メートル級のコーカサス山脈の雄姿をお楽しみいただけます。

ジョージアでは古都ムツヘタも訪問

ジョージアの魅力はジョージア軍用道路から眺める山岳風景だけではなく、ステパンツミンダでの宿泊を含めることでコーカサス山脈の絶景だけでなく、トビリシに戻る途中に古都ムツヘタでの観光も組み込むことができます。ムツヘタはかつてのイベリア王国の首都で、6世紀にトビリシに都が移ってからも文化的、宗教的に中心的な役割を持ち続けました。この町ではジョージア最古の教会と言われるスヴェティ・ツホヴェリ教会へご案内します。



スヴェティ・ツホヴェリ教会 今でも多くの人々が礼拝に訪れています（イメージ）

世界最初のキリスト教国、アルメニア使徒教会の 総本山を訪ね、聖書に登場するアララト山を遠望

ローマ帝国に先がけて世界初のキリスト教国家となったアルメニア。エレワン近郊にはアルメニア使徒教会の総本山エチミアジンがあり、敬虔な人々はここでその典礼を守り続けています。また、コーカサス三国の中で、コーカサス山脈の美しさと双

壁を成すのが、ノアの方舟伝説で知られるアララト山でしょう。晴れた日はエレワンからもその雄姿は望めますが、アララト山をより近くから望める高台にあるホルヴィラップ修道院にご案内します。



アルメニア使徒教会の総本山エチミアジン



エレワン近郊、太陽神を祀るガルニ神殿

シルクロードの中継都市バクーと近郊の歴史遺産

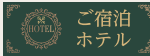
シルクロードの中継都市であったバクー。旧市街では、「乙女の望楼」など世界遺産の建築をご覧ください。また、ゾロアスター教の寺院や石器時代の岩絵彫刻が残るゴブスタンも訪ねます。



バクー旧市街のシンボルである乙女の望楼



新旧時代が交錯するバクーの町並み



カズベキ山を客室から望む ホテルをご用意しました

■ ステパンツミンダ：ルームズ・ホテル・カズベキ

ステパンツミンダ(旧名カズベキ)にあるマウンテンリゾートホテル「ルームズ」にて、カズベキ山を望むお部屋をご用意しました。天候に恵まれれば客室やテラスから間近に秀峰カズベキをご覧ください。



山々の中に行むマウンテンリゾートホテル



カズベキ山側のお部屋をご用意しました(イメージ)

■ バクー：ハイアット・リージェンシー

■ トビリシ：ビルトモア・ホテル

トビリシの目抜き通り「ルスタヴェリ大通り」に面する上級ホテル。

■ エレワン：アルメニア・マリOTT・ホテル・エレワン

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

ツアーコード：UC018T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田空港集合・9日間】 7月19日(土), 9月13日(土), 9月24日(水)	エコノミークラス利用 ¥525,000	ビジネスクラス利用 ¥1,105,000
	エコノミークラス利用 ¥555,000	ビジネスクラス利用 ¥1,135,000
8月8日(金)	エコノミークラス利用 ¥555,000	ビジネスクラス利用 ¥1,135,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：羽田空港～イスタンブール～バクー/トビリシ～イスタンブール～羽田空港間に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥62,500：2月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付乗条件がございますので 各支店へお問い合わせください
----------	--	----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05：10着 イスタンブール06：55発 バクー 10：45着 ゴブスタン バクー	航空機を乗り換え、アゼルバイジャンのバクーへ。 着後、石器時代の岩絵が残る●ゴブスタンを観光し、ホテルへ。(バクー泊) 機□夕	
3	バクー 14：40発 トビリシ15：50着	午前、バクー旧市街の観光。●シルヴァン・シャフ・ハーンの宮殿、○乙女の望楼などへご案内します。 午後、航空機にてジョージアの首都トビリシへ。(注) (トビリシ泊) 朝昼夕	
4	トビリシ09：00発 アナスリ 十字架峠 ステパンツミンダ16：30着	午前、●ジュワリ大聖堂を見学します。 その後、ステパンツミンダへ。途中、ジンヴァリ貯水湖を見下ろす17世紀の●アナスリ聖堂を見学し、十字架峠を越えます。 (ステパンツミンダ泊) 朝昼夕	
5	ステパンツミンダ 09：00発 ムツヘタ トビリシ17：00着	午前、4WDにて、14世紀に建てられた●ツミンダサメバ教会へ。その後、ステパンツミンダへ戻り、バスに乗り換えトビリシへ。途中、古都ムツヘタの観光。ジョージア最古の教会と言われる●スヴェティ・ツホヴェリ教会を見学。 夕刻、トビリシに到着。簡単な街の散策へご案内します。 夕食は、ジョージアの世界無形文化遺産のボリフォニーとともに楽しみください。 (トビリシ泊) 朝昼夕	
6	トビリシ08：45発 エレワン19：15着	午前、国境を越え、アルメニアへ。途中、●ハフバット修道院を見学します。 午後、○セヴァン湖に立ち寄り首都エレワンへ。 【2連泊】(エレワン泊) 朝昼夕	
7	エレワン	午前、アララト山を望む●ホルヴィラップ修道院、アルメニア使徒教会の総本山○エチミアジンの大聖堂(外観)と●宝物庫、●スヴァルトノツ遺跡を見学します。 午後、アルメニア王の夏の離宮として使われた●ガルニ神殿と●ゲガルト修道院をご案内します。 (エレワン泊) 朝昼夕	
8	エレワン08：30発 トビリシ17：30発 イスタンブール19：05着	午前、国境を越えてトビリシ空港へ。 トビリシより航空機にてイスタンブールへ。 (機中泊) 朝昼機	
9	イスタンブール02：00発 羽田空港19：20着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着後、解散。 機機□	

※コーカサスの山々は天候によっては、ご覧いただけない場合がございます。
(注)バクーからトビリシへはアゼルバイジャン航空を利用して移動します。スーツケースの重量は23kgまでとなります。また、航空機の発着時刻は変更となる場合があります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上必要 ■アゼルバイジャン査証料：無料(2025年2月現在)※現地で取得いたします。 ■ジョージア政府により、旅行者は海外旅行保険加入、及び英文保険証書の持参が義務付けられています。弊社で海外旅行保険にご加入いただく場合は、英文保険証書発行のお手続きを併せて承りますが、ご自身でご加入の際は、ご加入の保険会社にお問い合わせの上、英文保険証書発行の手続きをお願いいたします。 ■バクー～トビリシ間の航空機手配に際し、パスポートの顔写真ページのコピー（カラー）をお申し込み時に預かりいたします。

アゼルバイジャン探訪とカスピ海の旅 8日間



旧市街と新市街の対比が面白いバクーの街並み（イメージ）

東西文明の十字路 アゼルバイジャン かつてのシルクロードを辿り1カ国を旅する

ここに注目。旅のポイント

まるで中世の世界にタイムスリップしたような バクー旧市街「イチェリ・シャハル」

16世紀シルヴァン・シャー王朝の都として発展したバクーの旧市街は、現在も完全に城壁によって取り囲まれ、城門、王宮、王族の豊廟、聖者廟、ハمام(公衆浴場)、モスクが残っています。その旧市街はアゼルバイジャン語で「内城」を意味するイ

チェリ・シャハルと呼ばれており、その多くが日干し煉瓦で作られ、細い路地は迷路のように入り組み、雰囲気はまるで中世の街並みです。石油で発展する近代的な市街地との対比も興味深い街です。



バクー旧市街の街並み(イメージ)



バクー旧市街のシンボル乙女の塔

ツアープランナーより

世界最大の湖カスピ海に面し、大コーカサス山脈が北西部の国境となっているアゼルバイジャン。隣国のジョージア・アルメニアとともに「コーカサス3国」の中のひとつの国として紹介されることが多く、この国の持つ魅力を深くお伝えすることができていませんでした。古来、この地域では天然ガスが産出し、それが自然発火した炎が各地で見られたことから、拝火教(ゾロアスター教)の発祥の地となったといわれています。現在でも拝火教の名残としては拝火神殿跡などが見られます。かつてはシルクロードの交易都市として栄え、近年は世界有数のエネルギー資源埋蔵国として注目されています。このたびは豊かな自然、多くの歴史的建造物、カスピ海に育まれたアゼルバイジャン1カ国に絞り、かつてのシルクロードを辿りながらご案内します。

「永遠の火を祀る」拝火教神殿アテシュギャーフと ヤナルダーの燃える山

全国民のほぼ100パーセントがイスラム教徒の国ですが、かつては、拝火教と呼ばれるゾロアスター教の盛んな地域でした。豊富な天然ガスが産出され、地表に自然に噴き出し発火していたことから、この炎を人々は信仰の対象とし崇拜するようになりました。ツアーでは拝火教神殿ア

テシュギャーフの訪問に加え、夕方の時間に合わせてバクー近郊のヤナルダーの燃える山へご案内します。そこでは、丘の上の岩の裂け目から炎が噴出し、消えることがあります。神秘的な光景をぜひご覧ください。



拝火教神殿アテシュギャーフ



夜にヤナルダーの燃える山を訪れます(イメージ)

アゼルバイジャンで最も美しい古都のひとつ シェキに連泊

18世紀、サファビー朝ペルシャの崩壊後、この地方のハーン(領主)が独立し、この地を治めました。古くから養蚕業の盛んな地域であったため、絹の買い付けのためはるか遠くヨーロッパやアジアから商人が集いました。シルクロードの交易の地として今でも昔の隊商宿の建物や伝統的な赤レンガの古い建物が並びます。歴史地区やシェキハーン宮殿の美しいステンドグラス、シルクロー

ドの時代を彷彿とさせるバザールを散策します。



シェキ旧市街の街並み



ステンドグラスが印象的なシェキハーン宮殿

アゼルバイジャンの静かなる古都シェマハ

11世紀にペルシャからの亡命貴族が都をおき、シルヴァン王朝の首都として、また東西貿易の中心地として栄

えたシェマハでは、743年に建てられたコーカサス最古のモスクなどを訪ねます。



モスクを中心に街が広がります(イメージ)

世界遺産ゴブスタンへも ご案内します

バクーでは世界遺産に登録されている先史時代の岩絵が残るゴブスタン国立保護区を訪ね、壁画とともに泥火山もご覧いただきます。



壁画見学中の様子（添乗員撮影）

ご宿泊ホテル

- バクー：ハイアット・リージェンシー
- シェキ：シェキ・パレス・ホテル

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空 ツアーコード：UC029T		
集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田空港または成田空港集合・8日間】 5月22日(木)、6月12日(木)	エコノミークラス利用 ¥435,000	ビジネスクラス利用 ¥1,015,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：羽田または成田空港～中東主要都市～バクー間往復		
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：10月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	但し付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発→	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05：10着 イスタンブール06：55発→ バクー 10：45着	航空機を乗り換え、アゼルバイジャンのバクーへ。 着後、昼食。 その後、●カーペットミュージアムを見学し、ホテルにチェックイン。	(バクー泊) 機屋夕
3	バクー 08：00発→ シェマハ → ラフジ村 → シェキ18：00着	午前、9世紀にシルヴァン王朝の都として栄えた古都シェマハを訪ね、743年に創建されたコーカサス最古の●ジュマ・モスクを見学します。 その後、古い石造りの家並みが印象的なラフジ村に立ち寄り、シェキへ。	【2連泊】(シェキ泊) 朝昼夕
4	シェキ	午前、シェキ旧市街の散策。世界遺産に登録された18世紀のステンドグラスや装飾が残る見事な夏の離宮●シェキ・ハーン宮殿、中世シルクロードを彷彿とさせる○バザールにご案内します。 午後、自由行動。 夕食は、18世紀コーカサス最大規模の隊商宿を改装したホテル「キャラバンサライ」にて歴史を感じながらロマンチックなひとときをお過ごしください。	(シェキ泊) 朝昼夕
5	シェキ08：30発→ マラザ村 → バクー 17：00着	午前、シェキよりバクーに戻ります。途中、マラザ村近郊に立ち寄り、崖を削って造られた7世紀のイスラム聖人の廟○ディリババ廟を訪ねます。 夕刻、バクーに到着。 夕食後は、○ヤナルダーの燃える山へご案内します。	【2連泊】(バクー泊) 朝昼夕
6	バクー (ゴブスタン国立保護区)	午前、城郭都市画バクー旧市街「イチェリ・シャハル」の散策。●シルヴァンシャー宮殿、●乙女の塔などにご案内します。 午後、ゴブスタン国立保護区へ。古代壁画、泥火山を見学します。	(バクー泊) 朝昼夕
7	バクー (アテシュギャーフ寺院) バクー 21：55発→	午前、メトロ乗車体験やバザールにご案内します。 午後、郊外のゾロアスター教の聖地○アテシュギャーフ寺院を訪ねます。その後、空港へ。 夜、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝昼機
8	イスタンブール00：05着 イスタンブール02：00発→ 羽田空港19：25着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港間に到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食5回、昼食6回、夕食5回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上必要 ■アゼルバイジャン 査証料：無料(2024年10月現在) ※現地で取得いたします。